

学校教育目標

「感動を分かち合おう」
「目標を高く掲げよう」
「真理を追究しよう」

これらの目標の具現化のために方針を立て、手立てを工夫し、その結果を分析して、より高い目標へ向け次の方針を立てて取り組んでいきます。



本校では、稲作実行委員会を中心に教育活動協力者の木村さんに毎年アドバイスをいただきながら、「寺家の谷戸田」で米作りに取り組んでいます。



種まき
泥まみれになりながら、気持ちを込めて種まきを行いました。



除草
苗の間の雑草をていねいに除草しました。

話し合いでは…

1 学校行事について

学校運営協議会では、毎回学校行事について次の協議会開催日まで実施内容のお知らせと今回までの取組の総括をしています。実施日のお知らせと結果報告だけでなく、行事実施後の反省やアンケート結果をもとに次の改善生かす手立てについて話し合っていくことを重視しています。

稲作活動

令和元年度もNPO法人「農に学ぶ環境教育ネットワーク」代表の木村さんの御指導の下、18名の稲作実行委員の生徒とボランティアの生徒とで鴨志田米を作りました。

4月の「稲作伝授式」に始まり、12月の「収穫祭」まで、高温高熱の夏を何とか乗り越えて、寺家の光と土、水のみで栽培した完全無農薬・無肥料の米作りに取り組んできました。

泥まみれで苦しい作業が多かったのですが、稲刈りや脱穀が楽しかったと感想を述べています。

この活動を通して、子どもたちは自然の厳しさや楽しさを学び、収穫祭では実行委員一人ひとりが自分の言葉で感想を述べることもできていました。そして、収穫した新米1合を全員に配布することがで

活動スケジュール

- 4月 16日 種まき
- 19日 稲作伝授式
- 5月 17日 代掻き
- 24日 田植え
- 6月 14日 除草
- 10月 31日 稲刈り
- 11月 21日 脱穀
- 12月 2日 米つめ
- 9日 収穫祭

きました。

運営協議会委員の皆様には、今年度も活動内容と今後の方向性について御理解をいただき、これからより一層各方面のみなさんの御理解と御協力を得ながら、本校の特色ある教育活動の一つとして、この稲作活動に今後も継続して取り組んでいきたいと思



収穫祭
木村さん御指導の下、高温高熱の夏を乗り越え、寺家の光、土、水のみで栽培した完全無農薬・無肥料のお米が収穫できました。

3年模擬面接

本年度も12月3日～5日の3日間、地域の方による模擬面接を3年生75名に実施しました。学校・地域コーディネーターである福島様を中心に、PTA役員の方々に準備や生徒待機等で御協力をいただき、毎年実施しております。福島様をはじめPTA役員の方々には、企画・運営から当日の細部に渡るおもてなしと気配りに、大変感謝しております。また、今年11名の面接員ボランティアの方々にも、御多用の中、快くボランティアを受けて下さったことに深く感謝申し上げます。

生徒たちは、地域の方との初めての面接でしたので、入試本番のように大変緊張して臨んでいました。緊張しながらも真摯な姿勢で、考えてきたことを思い出しながら一生懸命面接官に伝

えようと努力していたようです。緊張のあまり声が小さくなったり、入退室の仕方がうまくできなかったりする生徒もいましたが、面接員の方に緊張を和らげてもらい、「安心して自分の考えを伝えることができた」と振り返る生徒もいました。

この模擬面接では、言葉遣いや服装等の確認をし、面接に向かう姿勢を学ぶことができました。生徒にとって、大変有意義で、良い経験をさせていただきました。面接員の方々からいただいた貴重なアドバイスをしっかり受け止め、本番に向けてさらに準備・確認をしていきたいと思

御協力いただいた面接員、福島様、PTAの皆様、どうもありがとうございました。

2 学校評価アンケート結果報告について

保護者の皆様からいただいた『学校評価アンケート』集約結果を基に話し合いを行いました。

この結果を委員の皆様からいただいた御意見・御感想を踏まえて校内で分析を進め、来年度の学校運営改善へ向けた手立てについて考えていきます。その手立てについては、3月に行われる今年度最後の学校運営協議会で確認して

いきます。
アンケートの質問については、『中期学校経営方針』(学校HPでも御覧いただけます)の内容を受ける形で項目分けをしています。そして、毎年見直しをしながら、経年変化も見ていけるように、また学校・家庭・生徒間でできるだけ質問内容を同じくしてその捉え方の相違についても見ていけるように工夫していこうと考えています。

話し合いでは、各学年ごとに分析報告を行い、それに対して御意見・御質問をいただきました。「アンケート内容」については本校独自のものでいじめに関する項目を位置付けてありますが、類似のものは他校でも行われています。「回収率」については、家庭数で集計しているため学年・クラスにおいてバラつきが出ていることや、「無記名」で実施し自由記述欄の内容に関しては、選別せずにそのまま記載しています。集計結果を受けて学校が行う分析方法については、教職員に

も同様のアンケートを行っており、大きな相違がある集計結果に着目していきます。

そして、「そうは思わない」という回答状況では、「主体的に学ぶことができている。」等についてご意見等をいただきました。

「中学生は成長する。職員の3年間で伸ばしていきたい意識はくみ取れる。」「学年の特徴で解決に至らないとも思える。」「お互い気を遣っている。」「リーダーのなり手がいない。仲間に遠慮がある。」「自主性は、主体性の中にあり、主体性は、自分のビジョンをはっきりもっている。表に出しにくい環境があるのか。」「目標設定が高いので、あまり向上していない」「自己肯定感が低いのはどこの学校でも同じ。保護者の要求が高いのでは。」「リーダーを理想化して、目標を高くすぎているかもしれない。」等、たくさんの意見・感想をいただきました。

学校では結果分析を更に進め、来年度へ向けた改善の手立てについて次回の学校運営協議会で提示し、それを基に話し合い、来年度の学校運営の方向性について確認をしてい



3 いじめ防止対策について

学校では、毎年いじめに関する資料・アンケート結果を活用した分析を進めるとともに、研修を併せて行い、時期に応じて生徒・保護者との面談を行っています。また、真下委員の御協力で弁護士による授業を毎年行うなど、いじめをしない、させないという意識を高める取組を続けています。

そして、学校運営協議会では、毎回いじめ防止対策について取り上げ、学校・家庭・地域との連携の在り方を含めた話し合いを行っています。そこでは、真下委員から法的な観点から助言・指導を受け、3者で取り組めることについて話し合い、いじめ防止へ向けて共通理解・共通認識を図っています。

本校では、「特別支援教育委員会」を週1回行っています。そこでは、各学年の情報を共有し合い、生徒の支援に対して様々な意見を出しています。学年を越えて様々な考えが共有でき、非常に有用な場である本校の強みです。この特別支援教育委員会を通して、生徒への支援だけでなく、いじめに対する予防や対応も共有できているので、この特別支援委員会の存在はとても心強い、という御意見をいただきました。今後も会の充実を図り、不安や悩みを抱え、困っている生徒への適切な支援を行ってまいります。昨年度、本校の「特別支援教育委員会」が「横浜優秀教員チーム賞」を受賞しました。



おわりに



会の最後に、高野澤副会長よりお話をいただきました。「PTAも来年度に向けて役員決めなど大詰め時期に来ています。」「親子ふれあい活動では、お弁当の件で先生方に欠席者等の対応に対し、有難く、感謝している。」というお話がありました。

KAMONEWSとして学校運営協議会の様子をお知らせしています！

横浜市立鴨志田中学校

〒227-0033 横浜市青葉区鴨志田町536

電話: 045(961)3771

FAX: 045(961)1495

通級指導教室 045(961)8727

心の相談室[スクールカウンセラー] 045(961)3910 ※主に木曜日来室



令和元年度 第5回 学校運営協議会が行われました

年が明けて令和2年を迎え、今年度5回目の学校運営協議会を1月21日(火)に行いました。今回の会議では、教育活動の報告と予定、いじめ防止基本方針、そして学校評価アンケート結果について取り上げ、学校運営協議会の皆様からいただいた御意見を踏まえながら、次年度の学校経営計画の見直しを行い、次年度へ向け具体的な手立てを考えていきます。



目次:

学校行事について	1
稲作活動	
3年模擬面接	
いじめ防止対策について	2
学校評価アンケート結果報告について	3

はじめに

はじめに戸塚会長より、新年のあいさつの後、「個人的には、母校がラグビーで高校日本一になった。メンタルコーチは、スポーツ心理学の権威。その方から、チームだけでなく組織のマネジメントに通じる研修を受けました。その研修の中で、人との関係の作り方はすべて同じ、ということを得ることができた。」「年度末に向けて、今後ともよろしく願います。」とのお話をいただきました。

続いて濱崎校長からは、「真下委員のスクールロイヤーに関する記事が新聞報道されました。」「本校が令和元年度全国健康推進づくりの優良校に認められ、1月25日に表彰されます。」との報告があり、さらに「ハマ弁推進校であり、新入生説明会(さくらプロジェクト)で紹介していく。」また、働き方改革で本校の職員のデータを提示し、職員の時間外勤務についての説明がありました。「(時期によって状況が変わる)土日の部活動の状況について時間外勤務が増える。」等の話がありました。

令和元年度 鴨志田中学校学校運営協議会委員

- 会長 戸塚 昌行 (鴨志田町内会長)
 - 副会長 高野澤明美 (鴨志田中学校PTA会長)
 - 委員 奥田 妙子 (中里北部連合町内会長)
 - 委員 福島由香子 (地域コーディネーター)
 - 委員 富川 貴子 (主任児童委員)
 - 委員 照井 仁 (鴨志田地域ケアプラザ所長)
 - 委員 真下麻里子 (宮本国際法律事務所弁護士)
 - 委員 濱崎 利司 (鴨志田中学校長)
 - 事務局 植木 直樹 (鴨志田中学校副校長)
 - 事務局 近藤 幸男 (鴨志田中学校主幹教諭・通級主任)
 - 事務局 齊藤 法子 (鴨志田中学校主幹教諭・3学年主任)
 - 事務局 田中 光弘 (鴨志田中学校主幹教諭・教務主任)
 - 事務局 米川 久子 (鴨志田中学校教諭・1学年主任)
 - 事務局 高田 悟 (鴨志田中学校教諭・2学年主任)
 - 事務局 長谷川 満 (鴨志田中学校教諭・生徒指導専任)
- ※敬称略

学校運営協議会とは

「法律に定められた権限を与えられた、地域・保護者・有識者などから構成される学校運営改善を目的として協議する組織」です。設置校数は年々数を増し、平成31年度には横浜市内公立学校約500校のうち210校に設置されています。本協議会で

は、今年度も子どもたちのために、よりよい学校づくりへ向け、学校・家庭・地域の連携を進めてまいります。また、この協議会に「いじめ防止対策委員会」を併置し、いじめを中心に子どもたちの抱える課題について話し合い、解決を図っていきます。